



去る5月18日、「2019年度U.S. Educators to Japan (USEJ) プログラム」のオリエンテーションを開催した。昨年度と同様、参加者である8名のアメリカ人教育関係者らが、プログラムの説明に熱心に耳を傾けた(詳細はp.4-5)。

- 2-3 アメリカで活躍するJBA企業インタビュー◎Zojirushi America Corporation
- 4-5 「2019年度 USEJ プログラム」オリエンテーション報告
- 6-7 「FDI Report 2019」(海外直接投資報告書)発表
- 8-10 新入会企業紹介
- 11 各部会からのお知らせ
- 12 7月・8月のJBAイベントカレンダー

<http://www.jba.org>

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone : 310-515-9522

アメリカで活躍する JBA会員企業 インタビュー

File
10

ここアメリカで活躍するJBA会員企業の、アメリカ進出の歴史や事業内容、今後の展開などに迫るコーナー。

同社のこれまでの歩み

- 1918 ● 魔法瓶の内瓶の製造を目的に、市川兄弟商会として創業
- 1948 ● 株式会社共和製作所を設立し、魔法瓶の製造・販売を開始
- 1961 ● 象印マホービン株式会社に改称
- 1987 ● Zojirushi America Corporationをシティー・オブ・ベルに設立
- 1989 ● 家庭用パン焼き器「The Home Bakery Breadmaker」を北米で発売
- 1995 ● 業務用コーヒー保温器「Thermal Gravity Pot」を北米で発売
- 2009 ● ランチジャー「Mr. Bento」と「Ms. Bento」を北米で発売

Zojirushi America Corporation

魔法瓶でおなじみの象印は、2018年で創業100周年。北米市場には30年前に参入し、炊飯器、電気ポット、ランチジャーといった日本品質の製品を販売している。中でもパン焼き器に関しては全米シェア1位を誇る同社に話を伺った。

貴社の北米進出からこれまでの歩みを教えてください。

1987年4月に社長含めて9名で設立されました。手始めに、象印の看板商品である炊飯器と電気ポットをアジア系を中心に営業を開始した後、日本でパン焼き器が開発されると、これはアメリカの食生活にマッチしているということで、早速アメリカ向けに改良を重ねました。89年、北米での「The Home Bakery Breadmaker」の発売をきっかけにメインストリームの市場に参入していきました。

パン焼き器を軌道に乗せるまでのご苦労と手応えをお聞かせください。

元々の仕様が日本で入手できる材料を使うことを前提としていましたので、こちらではパンを作っては試して、さらに改良するという試行錯誤の繰り返しでした。そして、やっとの思いで売り出したのはいいけれど「生地が膨らまない」と当初は大量に返品される始末でした。そこで使い方をしっかり覚えていただくために、全米14のレップグループ（代理店）のセールスマン向けの講習会を実施し、さらにショップの店頭でお客様向けのデモンストレーションを行うなど教育に力を入れました。こうして現在

北米のパン焼き器市場におけるシェアは1位、27%を誇ります（2018年度）。

北米市場でのヒット商品は？

まずはこの「The Home Bakery Breadmaker」です。大変な反響で『Consumer Digest』でも特集記事が組まれました。90年代の半ばには業務用のコーヒー保温器が大ヒットしました。それまではアメリカのコーヒーというと、ガラスのデカンタで保温するのが通常の方法でした。しかし、それだと20～30分もすれば熱で煮詰まり、コーヒーの質が劣化して苦くなるため、レストランやカフェで作ったコーヒーの4割は捨てられていたのです。そこで、魔法瓶の会社である当社としては、コーヒーの質を保ったまま保温することができる業務用機器「Thermal Gravity Pot」を売り出しました。バンクーバーやトロントなどカナダから火が付き、ヨーロッパ風の味の濃いコーヒーがアメリカでトレンドになったことも追い風となって、同製品は一世を風靡しました。売り出した頃、私は同部門の責任者だったのですが、「業界のコーヒー保温器を魔法瓶で塗りつぶそう」をスローガンに定め、北米全土に営業を仕掛けました。さらに、2009年に北米で発売したのが、



Office Sekkei America, Inc.

☎ (310) 715-1001 ✉ la@officesekkei.com
www.officesekkei.com/us

オフィスの移転・改装は 「オフィス設計」

- 設計・レイアウトデザイン
- 各種内装工事
- オフィス家具
- 電話・LAN・セキュリティー
- 引越・移転作業
- プロジェクトマネジメント
- コストマネジメント



業界紙で紹介されるほど発売時には注目されたパン焼き器。今も全米シェア1位。

お話をうかがったのは
山崎達也 さん

Zojirushi America Corporation・President & CEO。1987年、同社に Sales Managerとして入社し、アジア系市場のセールスを担当。94年、National Sales Manager、97年、Assistant Vice President、2001年 Vice Presidentを経て、10年より現職。



アメリカでの取扱説明書は多言語対応で驚きの厚さになるもの、品質は世界統一基準の炊飯器。



アメリカでの健康志向やキャラ弁人気を背景に売上増となったランチジャー。



コーヒーの質と温かさを同時に保てるという機能で市場を席巻した「Thermal Gravity Pot」。

「Mr. Bento」と「Ms. Bento」です。お弁当を温かくも冷たくも保温できる、いわゆるランチジャーですね。アメリカの学校のカフェテリア（給食）ではなく、より健康的な手作りのランチを持たせたいという親御さんの存在が、お弁当のブームを後押ししてくれました。その背景には、「どんな食材が使われているのかわかりやすく把握しておきたい。自分で選んだ食材で作りたい」という、ここ数年のアメリカ人の健康志向があるんです。さらに消費者の方々が学校や職場に持参するキャラ弁をブログで公開することで、弁当ブームは広がりを見せました。

北米市場での貴社の製品の優位性は、どのあたりにあるとお考えですか？

品質の高さと安全性に尽きます。象印は全世界で「ワンブランド・ワンスタンダード」というスローガンを掲げています。これはつまり、日本品質の商品を世界市場で提供するというので、どのような環境の市場に

も絶対に妥協しない製品をお届けすることです。例えば、アメリカでは「なぜ普通のケトルがこの値段なのか」と、若干高め料金設定に疑問を持たれることもあります。しかし、それは、口が密閉式になっていて万が一倒れた時に熱湯が漏れ出さないようにするなど、安全性に配慮した結果なのです。

日米のマーケティング戦略の違いについてお聞かせください。

アメリカは多民族、多文化国家であり、お客様のバックグラウンドが多岐にわたります。炊飯器だけを取っても、買う方は中国系、日系、韓国系、ベトナム系、マレーシア系とさまざまです。そこで取扱説明書は各言語に対応するためにびっくりするほどの厚さになってしまいます。また、それぞれの民族で好みの米のタイプが異なることから、短粒米、中粒米、長粒米、さらに最近では健康志向のお客様のためにキヌア

を調理する機能まで備えております。これは昔からですが、アメリカと一言で言っても決してひとくくりにはできず、きめ細かなマーケティング戦略と対応が求められます。

今後の展望をお聞かせください。

Eコマースがさらに拡大するものと見ています。当初はMacy'sといったデパートやグルメショップを通しての販売が主でしたが、高い商品ですから説明が必要です。しかし、店頭では店員が取扱方法を細かく説明するにも限界があります。そんな中、2000年くらいからはAmazonなどオンラインショップでの販売が増えてきました。オンラインショップならスクロールすれば商品についての詳細を見ることができず。また、店頭ですと棚のスペースを大きく取れないというデメリットがありますが、オンラインではその点も問題ありません。さらに、レシピ情報の発信などSNSを中心にマーケティングを展開していく予定です。

事務職は勤務時間の20%をかけて「情報」を探している。

年収\$50,000の社員であれば、
「あのファイル、あのEメール、どこいった」
に毎年\$10,000!

ファイルとメールが中心の業務、
そろそろやめませんか。



kintone

<https://www.kintone.com/jp>

「2019年度 USEJプログラム」 オリエンテーション報告

5月18日、あさひ学園トランス校で「2019年度U.S. Educators to Japan (USEJ) プログラム」のオリエンテーションが開催された。当日は、同プログラムに参加する8名のうち6名の教育関係者、昨年度の参加者5名が出席し、教育文化部会担当者らからのプログラムの内容と日本での観光情報などの説明に熱心に耳を傾けた。



昨年の参加者と今年の参加者で記念撮影。



冒頭の挨拶をする古谷教育文化部会長。



USEJの意義を説明する教育文化部会員の杉田さん。

文化を体験し教育に生かすため 現地校教育関係者を日本に招待

去る5月18日、今年で44回目を迎える「U.S. Educators to Japan (USEJ)」の2019年度のオリエンテーションが開催された。1975年に始まった同プログラムは、日系企業の駐在員の子女を受け入れているアメリカ現地校への謝意を表すとともに、実際に現地校の教育関係者を日本に招待することで日本文化を体験してもらい、その結果を帰国後の教育に生かしてもらうことが目的だ。JBA会員企業の子どもたちが多く通う学区のアメリカ人教育関係者の中から、各地域部会の推薦や面接などを通して選抜を行っている。

オリエンテーションでは最初に、古谷教育文化部会長が「今年のUSEJも参加する皆さんにとって実り多いものになるように願っております」と挨拶。その後、同部会員の杉田さんが、参加者に同プログラムの意義について説明した。続いて、参加する6名が自己紹介を行った後、同じく教育文化部会の相場さんが今年のスケジュールを紹介。今年のプログラムは、一行が6月23日、日本に到着した後、24日は東京都内でオリエンテーションを受け、午後は学校訪問、25日には参加者による学校でのデモ授業を行う。さらに26日は広島、27日には宮島、28日に京都を回り、ホームステイ先では日本の家庭での生活を体験してもらう、日本滞在期間は12日間となる、な

どの説明がなされた。相場さんは「日本では靴を脱ぐ場所が多いのでスリッパが用意されますが、足のサイズ10以上の方はご自分でスリッパを持参してください」と、笑いも交えながら、細かいところまでアドバイスした。

日本での滞在や移動時に役立つ 具体的なアドバイスを提供

続いてANA Sales Americasの鶴井さんが、ロサンゼルス空港までの移動と機内での注意事項を説明した。さらに、Japan National Tourism Organization（日本政府観光局）の阿相さんが、日本国内での滞在時や移動時における役立つ情報を紹介。「日本では東京オリンピックの開催を前にWi-Fi環境を急速に整えているところですが、まだ制限が多いのが実態です。空港でレンタルできるモバイルルーターの使用をお勧めします。また、翻訳アプリを利用すると非常に便利です。私自身、アメリカに来た時は外食代が高いことに驚きましたが、日本ではランチを10ドル以内で食べられる店が豊富にあります。しかもチップは不要です」といった詳細な内容に、昨年の参加者は大きくうなずき、今年の参加者は興味深そうに聞き入っていた。

さらに、あさひ学園の岩井専務理事が、日系企業の駐在員の子女が土曜に通っている同学園について紹介し、英語と日本語の環境の中で頑張る子女への理解を促しつつ、同時に現地校教育関係者への感謝の意も表した。その後、参加者たちは同校の授業風景を見学。そしてその後には今年度のリーダー選出が行われ、リーダーにYvonne Marinさん、サブリーダーにはMichael Remlandさんが選ばれた。最後は、昨年の参加者と去年の参加者、さらには教育文化部会員やJBA関係者らも加わってのランチタイムとなり、参加者たちは情報交換を行うなど有意義な時間を過ごした。



「LAXへはゆとりを持って到着を」とANA Salesの鶴井さん。



滞在時のアドバイスをする日本政府観光局の阿相さん。



昨年の参加者たちと楽しげに説明を聞く参加者たち。

2019年度USEJプログラム参加者の声

Eric Blinder さん
(John Muir Middle School, Burbank)



バーバークの中学でサイエンスを教えて8年になります。日々楽しみながら教えています。古い歴史を持つのと同時に、最先端のトレンドとテクノロジーを誇る文化的な国、日本には以前から興味がありました。今回のプログラムでは、日本の学校を訪問すること、そこで授業のデモンストレーションを行うこと、またホストファミリーと一緒に日常生活を過ごせることを心から楽しみにしています。

Yvonne Marin さん
(Jefferson Middle School, Torrance)



私はトーランスのJefferson Middle Schoolの校長を務めています。私たちの学校には日本人が多いので、彼らの背景を理解するために、このプログラムに参加できることに教育者として大きなやりがいを感じています。また、実際、当校の多くの生徒たちが夏休みに東京に行く聞いています。私も彼らと同じ時期に同じ場所に行き、同じような体験ができることをうれしく思います。

Vicki Hath さん
(Arlington Elementary School, Torrance)



このオリエンテーションを開催してくださってありがとうございます。JBAの方の説明やここにいらっしゃる方々から豊富な情報をいただき、日本に行くことがますます楽しみになってきました。今回の機会を与えていただいたことに感謝しているのはもちろん、本当にワクワクしています。学校の日本人の生徒に日本について聞いたところ「夏はとっても暑い」と教えてくれました。全ての情報を有効に活用して有意義に過ごしていきます。

Michael Remland さん
(Fern Elementary School, Torrance)



私は小学校のクラス担任を15年、中学で教頭を2年務めた後に小学校の校長になりました。日本に関する知識は周囲の日本人や本から得たものが中心で、親しい日系人の友人からはその豊かな文化や歴史について教わりました。また、FEN(米軍による極東放送)に勤務していた関係で何度も日本を訪れたことがある祖母からも日本の話を聞きました。私自身が日本に行くに当たっては、日本人の生徒たちの背景を理解できる素晴らしい機会として今後活かしていきたいと考えています。

Kate Leavey さん
(Jeffrey Trail Middle School, Irvine)



私は6年前からJeffrey Trail Middle Schoolで世界史を教えています。私の趣味は旅行することや歴史を学ぶことです。そのことが多様な文化的背景を持った子どもたちを教えるという仕事に役立っていると思います。私の生徒やホストファミリーとして受け入れてきた日本人留学生から知る限りでは、日本は安全で人々が優しく、歴史的な名所が多い国だと認識しています。日本での神社仏閣の見学やホームステイが今からとても楽しみです。

Kelly Montplaisir さん
(University Park Elementary School, Irvine)



私はインディアナ、フロリダ、現在のカリフォルニアと、全米各地の小学校で教えてきました。毎年日本人の子どもを、5人から10人受け持ちますが、アメリカに来てまだ2年以内という子どもたちが多いです。今回のUSEJプログラムで楽しみにしているのは、日本の人々に出会い、伝統について知ることです。また、日本の一般家庭に滞在することが、日本人の生徒の物事の見方を知るヒントになればとてもうれしいですね。

Freya Remmer さん
(University High School, Irvine)



私はアーバインのUniversity High Schoolで9年生から12年生に英語を教えています。ドウモアリガトウゴザイマス(日本語で)。私自身と私の高校に還元できる、このような素晴らしい機会を与えてくださったことに心から感謝します。今日は娘の誕生日で、帰国後のミーティングが開かれる7月17日は結婚記念日ということで、USEJとの幸せなご縁を感じています。

Carrie Eaton さん
(Greentree Elementary School, Irvine)



私は25年間、小学校で教えてきました。一般科目以外にもGATE (Gifted and Talented Education)プログラムのコーディネーターも務めています。日本に行ったことはありませんが、USEJの過去の参加者である両親が日本での体験については詳しく教えてくれました。今回、USEJに参加することで日本の教育制度を学び、アメリカとの違いを比較してみたいと思っています。東京だけでなく京都や広島を訪ねることもまた楽しみです。

「FDI Report 2019」 〔海外直接投資報告書〕発表

去る6月6日に開催された「Select LA Investment Summit 2019」で、南カリフォルニアにおける海外直接投資報告書の2019年度版が発表された。JBAはこのレポート作成にあたり、今年度もスポンサーとして協賛した。日本は直接投資において、今年も雇用者数、企業数、総賃金いずれも1位となった。

「Select LA」海外直接投資賞は Honda North America社

JBAの協力団体、LAEDC (Los Angeles County Economic Development Corporation = ロサンゼルス郡経済開発公社)の傘下機構、WTCLA (The World Trade Center Los Angeles)は、6月5日と6日の2日間にわたってダウンタウンLAで「Select LA Investment Summit 2019」を開催した。同イベントは、南カリフォルニアにおける貿易の動向、ロサンゼルス郡での直接投資の機会や市場傾向などについて紹介するもので、毎回、国内外から多数のビジネスリーダーが参加する。JBAからも商工部会から酒井紀幸副会長、部会員の諸岡みどりさん、福島祥修専務理事らが出席した。

イベントの2日目には、南カリフォルニアにおける海外直接投資報告書の2019年度版「Foreign Direct Investment in

Southern California 2019」(以下「FDI Report」)が発表された。これは2018年度の南カリフォルニアに対する諸外国からの投資や貿易などの活動に関わるデータをまとめたもの。JBAは日系企業の南カリフォルニア地域への貢献度を示すデータの重要性を認識し、例年、同レポート作成にスポンサーとして協賛している。

また、「Select LA」では南カリフォルニア地域での直接投資に特に貢献した企業を選出し、「Foreign Direct Investment Award」を贈呈している。今年度の受賞企業はHonda North America。同社を代表してスピーチを行ったスポークスマンのマルコス・フロマー氏は「北米のホンダの歴史はロサンゼルス市の小さな事業所から始まりました。そこでのオートバイの販売から、やがては乗用車、さらに今ではジェット機まで手掛けるようになりました。小さなビジネスが努力の継続によって大きなアメリカンドリームに成長できたことに、当社の北米でのスタート地点となったロサンゼルス地域に感謝の意を表します」と語った。

LAに投資すべき理由について ガルセッティ市長が熱弁

続いて、今年が5年連続の「Select LA」への参加となるロサンゼルス市長のエリック・ガルセッティ氏が登壇し、ロサンゼルス市の投資先としての優位性について熱弁を振った。「ロサンゼルスは単にアメリカの中の一都市というだけでなく、非常にグローバルな都市です。LAをグローバルな都市にしている要因はいくつかあります。1つは、数字が示す外国からの直接投資に関する圧倒的な実績です。2018年、外国からの直接投資による労働者は約20万人、企業数は約500、そして賃金総額は152億ドルに達しました。次に、ロサンゼルス国際空港の存在。この空港は米国最多の離発着陸数を誇る空港の一つで、世界では4位です。3つ目は、北米最大のコンテナ港であるロサンゼルス港を擁することです。さらに当地で2028年に開催されるオリンピックとパラリンピックに向けて、主にダウンタウン地区で大規模な建設プロジェクトが進行しています。これらの工事が完成すれば都市としての力がますます増大することが期待できます。また、オリンピックは単なるスポーツ競技の大会ではありません。世界平和を目的に開催されます。同様に、ロサンゼルスこそが世界平和と相互理解を象徴している都市だと言えます。世界中からさま



「ロサンゼルスは多様性の土地。私たちの文化はあなたたちの文化でもある」とスピーチするガルセッティ市長。

ざまな人種、文化的背景を持つ人々が集まっているロサンゼルスは、誰もが地域の一員であると感じられる場所です。韓国系のフードトラックの経営者が、韓国とメキシコ料理を融合させた食事を提供しています。それを楽しむのは、多様なバックグラウンドを持つ顧客です。これは実にロサンゼルス的な光景です。あなた方が取り組むべきビジネスは、ここロサンゼルスにあります」。

南カリフォルニアでの海外直接投資 日本は4年連続で全部門1位

「FDI Report」の紹介は『Los Angeles Business Journal』の発行人、アンナ・マグザニアン氏が行った。本レポートでは、南カリフォルニアの6郡(ロサンゼルス、オレンジ、リバーサイド、サンバナディーン、サンディエゴ、ベンチュラ)における海外企業の活動について、雇用者数、企業数、賃金の観点から集計している。そして日本は、雇用者数8万1751人、企業数2407企業、総賃金61億8600万ドルで4年連続の3部門全てにおいて1位となった。ただし、前々年比で雇用者数は6.3%減少、企業数も2.4%減少。雇用者数を基にした10位までの国は右ページ表の通り。前年との違いは3位と4位の国が入れ替わった点で、前年4位のカナダがフランスを追い越して3位に付けた。さらに、前年はトップ10圏外だった台湾が10位に入り、前年10位のオランダが13位にランクダウンした。

このように、雇用者数、企業数は若干減少したものの、日本企業は今年も雇用、企業、賃金の全てにおいて2位のイギリスを大きく引き離す結果となった。

「日系企業は発信力を高めるべき」 WTCLA スティーブン・チャン氏

ブレイクタイムには、酒井商工部会副会長が、WTCLAのプレジデント、スティーブン・チャン氏に対面取材を行った。その



今年度の受賞企業は北米ホンダ。「アメリカのホンダはロサンゼルスからスタートした」と語った同社フロマー氏。

中での「日本企業は南カリフォルニアにおいて最大の貢献をしているにもかかわらず、地元の人々や政治家はその事実を把握していません。どうやって、この事実を認識してもらえばいいでしょうか？」との最初に質問に対して、チャン氏は次のように答えた。「発信力を高めることが重要です。しかも自分たちではなく第三者にそれを語ってもらうことでインパクトが強くなります。私たちはすでに『FDI Report』にまとめることで、日系企業の貢献の重要性を把握しています。この数字を活用すべきです。同時に日系コミュニティの中でもこの事実を認識してもらい、外部に向けて発信していただきたいと思います。そのような積み重ねによって、政治家も日系企業によるロサンゼルスと南カリフォルニアへの影響の大きさを認識するようになると思います」。

「ロサンゼルスでの新拠点開設や移転に興味を持っている日系企業に対して、同地が提供できる魅力とは？」という問いに対して、チャン氏は「2つあると考えます。1つは機会の多様性です。ロサンゼルスではすでに実に多くの産業が開花しているだけでなく、同時進行で交通関係、ゲーム、スポーツ・エンターテインメントなど新しい機会も成長しつつあります。2つ目は人の多様性です。アメリカの歴史の上では、今はいいこともあれば悪いことも起こっています。世界中の人がアメリカが外国生まれの人々に対してオープンではなくなっていると感じているでしょう。しかし、ロサンゼルスは国際的な土地です。ガルセッティ市長も言ったように『私たちの文化はあなたたちの文化』です。外国の方々がロサンゼルスでビジネスを行う際には、家族や同僚を母国から連れてこられると思いますが、私たちは皆さんを、この土地のビジネス社会の一員

として歓迎します。ここで疎外感を感じたりする必要はありません」と答えた。

最後にチャン氏は日系企業に「今、ロサンゼルスは経済復興の時期を迎えています。しかし、需要に対して現地でまかなえる供給量が十分でないという事実があります。だからこそ、外国からの投資が我々には不可欠なのです。ロサンゼルスで一緒に目標達成に向け、取り組みましょう。1220億ドルに相当する交通機関のプロジェクトも進行中です。また、ロサンゼルス・ラムズのスタジアム建設には最新の技術が必要です。日系企業にはぜひ、これらのプロジェクトに積極的に関与していただきたいと思っています。また、この時期は永遠ではありません。好機を逃すことなく、日系企業にロサンゼルスでの市場参入の機会をつかんでいただきたいです」とメッセージを送った。

「日系企業の存在感をもっと高めたい」と、酒井商工部会副部長

今回の「FDI Report」発表において、日系企業の南カリフォルニアにおける貢献度の高さが改めて明らかになった。これらの結果を踏まえて、酒井商工部会副部長は、日系企業にとってのロサンゼルスの重要性について次のように話した。「日本の企業は現在も当地で暮らす先輩たちとその子孫の功績の恩恵を受けながら事業を営むことができます。ロサンゼルス港、ロングビーチ港、ロサンゼルス国際空港など、ここはまさに物流と人流のゲートウェイであり、日本の企業が海外進出を進める上で拠点機能としての意義があります。また、ロサンゼルス地域は1870万人の消費者の生活の場であり、その多様性のある人口に対して商業を営むことも可能になっています。さらには、カリフォルニア工科大学を



カナダやドイツの総領事と共にパネルディスカッションに参加した、千葉明在ロサンゼルス日本国総領事(左から2人目)。

はじめ多くの高度な人材を確保しやすい場所であり、北のシリコンバレーに続いて南のシリコンビーチといったIoT、AIによってもたらされる第4次産業革命の中心地にもなりつつあります。この産業革命と既存産業との融合によって新しい技術革新が起こり、新しいビジネスモデルが次々に誕生していることから、同地は引き続き日系企業にとって重要な地域にあり続けると感じています」。

また、チャン氏への質問にもあったように、南カリフォルニアにおける日系企業の経済的貢献の大きさを社会に向け、どのように発信していくべきかについて、「WTC、LAEDCをはじめとするローカルのパートナーと共に、日系企業の地域貢献と企業数、雇用数、地域の問題解決の事例を含むビジネスプレゼンスを具体的に客観的な形で伝えていくことが重要だと感じています。経済貢献のみならず、地域社会の一員として現地での事業の業績を還元する活動に力を入れていくことも重要になってくると確信しています」と語った。そして、今後ますます、WTC、LAEDCをはじめとする現地の経済、政治、教育文化団体との友好な関係性を深めていきたいと締めくくった。



WTCLA プレジデントのステイブン・チャン氏を中央にJBA参加者が記念撮影。

南カリフォルニアにおける海外直接投資(順位は直接雇用数順)

| | 国 | 直接雇用数 | 企業数 | 海外企業による全雇用数のうち同国が占める割合 | 賃金総額(推定) |
|-----|------------|---------|--------|------------------------|-----------|
| 1位 | 日本 | 81,751 | 2,407 | 19.2% | \$6,186M |
| 2位 | イギリス | 64,993 | 1,281 | 15.3% | \$4,348M |
| 3位 | フランス | 44,611 | 967 | 10.5% | \$3,221M |
| 4位 | カナダ | 42,714 | 895 | 10.0% | \$3,298M |
| 5位 | ドイツ | 27,449 | 837 | 6.4% | \$1,873M |
| 6位 | スイス | 23,216 | 370 | 5.5% | \$2,104M |
| 7位 | アイルランド | 16,594 | 161 | 3.9% | \$1,272M |
| 8位 | 中国 | 15,683 | 448 | 3.7% | \$1,202M |
| 9位 | スウェーデン | 10,408 | 119 | 2.4% | \$549M |
| 10位 | 台湾 | 10,145 | 262 | 2.4% | \$756M |
| | 南カリフォルニア全体 | 425,579 | 10,305 | 100% | \$30,982M |

(データ:WTCLA「Foreign Direct Investment in Southern California 2019」)

新入会企業紹介

今後、米国の日系社会の中でお客様に喜んでいただけるようなサービス、アドバイスを提供できればと考えております。



大泉悦治さん

米国でご活躍されている日系企業様との交流を深め、お互いに有益となる情報交換をさせていただきたく入会致しました。



藤田正敦さん

出店計画のためにこちらに出張していた時から多くの方にご紹介いただき興味を持っておりました。同じカリフォルニアで働く日本人同士交流ができたらと思い、入会させていただきました。



山崎貴明さん

Capstone Partners Financial & Insurance Services

DATA

住所：4695 MacArthur Court, Suite 1000, Newport Beach, CA 92660
☎ 714-315-0176
Web：capstonepartnersfinancial.com
責任者：大泉悦治 (Corporate Financial Advisor)
従業員数：加州アドバイザー 約 400 人、MassMutual Life は 全米 7000 人以上
他の営業拠点：Century City, West Lake Village, Bakersfield, Pasadena, Las Vegas, 日本など

Capstone Partners Financial & Insurance Services は、今年からニッセイ・ウェルス生命保険会社として新たにスタートした Massachusetts Mutual Life Insurance (MassMutual) の代理店。ファイナンシャルプランニング、ウェルスマネジメント、リスクマネジメントの総合ファイナンシャルアドバイザーで、常に最新の情報に基づき、リタイアメント、アニュイティー、企業個人保険、401(k)、がん保険、所得補償保険、長期介護保険、ロボアドバイザーなど、幅広い分野を手がける。

Diamond Realty Management America Inc.

DATA

住所：515 S. Flower St., Suite 4860, Los Angeles, CA 90071
☎ 213-346-2100
Web：www.drmanageria.com
責任者：藤田正敦 (President & CEO)
従業員数：6 人
他の営業拠点：現時点では LA のみ

Diamond Realty Management America Inc. は、三菱商事の子会社として米国で不動産投資管理業務を行うべく 2018 年に設立された。設立間もない会社であるにもかかわらず着実に運用資産を増やしており、日本の関連会社と提携し、すでに 5 つの米国不動産投資ファンドを運営する。同社は三菱商事グループの日米における不動産投資に関する豊富な経験と知識を生かし、日本の投資家のニーズに合った理想的な投資機会を提供している。

ECO TOWN USA Inc.

DATA

住所：18968 Brookhurst St., Fountain Valley, CA, 92708
☎ 714-377-7067
責任者：山崎貴明 (Chief Operating Officer)
従業員数：35 人
他の営業拠点：Hawaii

1972 年に日本で創業されたハードオフコーポレーションの海外子会社として、現在アメリカ本土でリサイクルショップを運営している。今後 5 年間でカリフォルニアを中心に 10 店舗出店する計画。ドネーションやガレージセールなどの文化がありながら、大型のリサイクルショップがないことに出店の可能性を感じ進出した。ビジネスの拡大とともに、米国の持続可能社会への貢献を視野に店舗展開に取り組んでいる。

21241 S. Western Ave., Suite 200
Torrance, CA 90501
Tel: (310) 320-2700 Fax: (310) 320-4630

www.singerlewak.com



Kakimoto & Nagashima
A Division of SingerLewak

会計監査・会計全般
税務全般(企業、個人)
会計アウトソーシング
コンピューターコンサルティング
経営コンサルティング

日本人スタッフによる信頼できるサービス

米国にて事業開始から2年目を迎え、このたびJBAに入会することで、南カリフォルニアの日系企業の方々とネットワークをより深めたいと考えています。



砂塚雅司さん

INTAGE USA Inc.

DATA

住所：3625 Del Amo Blvd., Suite 335,
Torrance, CA 90503
☎ 310-291-8424
Web：intage.co.jp/us
責任者：砂塚 雅司 (President)
従業員数：3人
他の営業拠点：日本、中国、東南アジア5カ国

INTAGE USA は2017年より、日本の市場調査業界のリーディングカンパニーである「株式会社インテージ」の10番目の海外オフィス拠点として、カリフォルニア州トーランスにて米国事業所の営業を開始した。日系企業クライアントへの、北米エリアにおけるマーケティング、市場調査、コンサルティングサービスの提供を主要事業としている。今後は、アジア全域に広がるグループ会社のネットワーク・リソースを活用し、より多角化する顧客企業のニーズに対応していきたい、としている。

2年前に一度JBAを退会しましたが、JBAの活動を通じて日系企業の皆様との交流や情報交換の機会を持ちたく、このたび再入会いたしました。



久保勝彦さん

Nippon Steel Trading Americas, Inc.

DATA

住所：3100 Bristol St., Suite 525,
Costa Mesa, CA 92626 (カリフォルニア支店)
☎ 714-367-3900
Web：nst-us.com
責任者：久保勝彦 (支店長)
従業員数：9人
他の営業拠点：シカゴ、ヒューストン、
ピッツバーグ、メキシコシティ

日鉄物産米州会社（本社イリノイ州シャンバーグ）は、19年4月に社名を変更して（前身日鉄住金物産米州会社）新体制となった。米現法は、鉄鋼、産機インフラ、食糧の3事業部門からなり、日本製鉄グループの中核商社として鉄鋼製品のみならず、アルミを含む非鉄金属、また豚肉やカニなどの畜水産物の輸出入事業など、幅広いビジネスを推進している。昨今の米国政府の通商政策による急激なる市場変化に対応するためにも、グループネットワークと各分野での専門性を活かしながら、新たな挑戦に取り組んでいる。

南カリフォルニアの日系企業の方々とネットワークを広めたく入会させていただきました。よろしくご願ひ致します。



川口容子さん

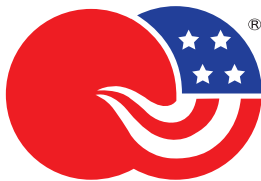
Prudential Financial, Inc.

DATA

住所：3530 Wilshire Blvd., #1360, Los Angeles,
CA 90010
☎ 213-884-1724
Web：prudential.com
責任者：川口容子 (ファイナンシャルアドバイザー)
従業員数：50000人
他の営業拠点：全世界約40カ国

Prudential Financial, Inc. は、資産総額1兆4650億円、「Fortune 500」（2019年版）のランキング50位（保険業界ではNo.1）という、世界最大級の金融サービス機関の1つ。140年以上の歴史を誇り、米国、アジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカを中心に事業を展開している。子会社および関連会社を通じて、生命保険、年金、退職関連業務、投資信託および資産運用を含む幅広い金融商品とサービスを提供している。

北川 & イバート法律事務所



KITAGAWA & EBERT, P.C.
(949)788-9980 日本語でどうぞ。
www.JAPANUSLAW.COM

With Lawyers Licensed in Multiple States Including
CALIFORNIA • TEXAS • NEW YORK • GEORGIA • NEVADA • ALABAMA

北川・イバート両弁護士ともにMartindale-Hubbell Peer Reviewにおいて“AV PREEMINENT” (法的能力・道徳性) 評価

WALL STREET JOURNAL, Chicago Tribune, Los Angeles Times 弊社勝訴が各誌にて紹介

必勝・難題解決のプロ・良心的

- 訴訟・仲裁・裁判・債権回収
- 契約法・ビジネス取引・流通
- 雇用法・残業・セクハラ・解雇
- 資産売却・M&A・無税法人再編成
- 不動産・リース・建設・売買
- 税務争訟・遺産・相続

北川 リサ 美智子 弁護士

京都大学法学修士
東京大学法学研修
連邦最高裁判所認可弁護士

CALIFORNIA, TEXAS, NEW YORK, GEORGIA
(MAIN) 300 SPECTRUM CENTER DR. SUITE 960, IRVINE, CA 92618-4998
(TEXAS) (BY APPT.) 5851 LEGACY CIRCLE, 6TH FL., PLANO, TX 75024

日系企業の皆様と交流し、情報交換をさせていただきたく入会しました。北米での物流最適化のお役に立てればと考えております。



大沢裕士さん

ジャパン・ハウスのキッチン図面、厨房備品の請負業者に指名していただきましたことから、JBAをご紹介いただきました。日系企業様との交流を楽しみにしております。



柴尾亜矢さん

当社は世界中の日系企業様をフォローすべく、各地にジャパンデスクを設置しています。私も北米担当ジャパンデスクとして2018年10月に赴任したのを機に、JBAに入会致しました。



大石浩人さん

SENKO(U.S.A.),Inc.

DATA

住所：406 Amapola Ave., Suite 215, Torrance, CA 90501
 ☎ 310-834-0200
 Web: www.senko-usa.com
 責任者：大沢裕士 (Area manager)
 従業員数：46人
 他の営業拠点：シカゴ、アトランタ、ケンタッキー

SENKO(U.S.A.)Inc. は、センコー(株)の米国法人として2006年に設立された。国際物流フォワーダーとして、海上・航空輸送サービスを提供し、ケミカル品や食品、自動車部品などを取り扱い、顧客ニーズに合わせた物流ソリューションを提案している。シカゴや中西部地域で展開する自社トラックでの海上コンテナ輸送やJIT配送は輸送時間と費用削減を求める顧客に好評を得ている。また、冷蔵・冷凍機能を備えたケンタッキースティクスセンターを中心に、自動車産業や小売業の物流市場での実績も高い。

Taiko Enterprises Corp.

DATA

住所：1467 178th St., Gardena, CA 90248
 ☎ 310-715-1888
 Web: taikous.com
 責任者：柴尾亜矢 (取締役)
 従業員数：16人
 他の営業拠点：テキサス、ハワイ、ニューヨーク

来年30周年を迎えるTaiko Enterprises Corp. は、(株)太幸の米国法人。日本食レストラン、日系スーパーマーケットのキッチン図面から厨房機械、店舗備品までをトータルに扱う専門商社である。また、Taikoブランドの焼肉ロースター、酒かん機のメーカーでもある。日系メーカーの多種多様な厨房機械の米国認証取得も行っている。アメリカ進出企業のパートナーとなるべく、細やかで質の高いサービスを従業員一同心がけている。

Toll Group

DATA

住所：2000 E. Carson St., Carson, CA 90810
 ☎ 562-283-8579
 Web: tollgroup.com
 責任者：大石浩人 (Vice President / Head of Japan Desk, USA)
 従業員数：44000人
 他の営業拠点：50カ国、1200拠点

Toll Groupは1888年に、オーストラリアで石炭運搬会社として創業以降、各国の物流企業の買収を重ね、グローバルロジスティクス会社としての地位を確立した。2015年にグループ全体が日本郵便(株)の傘下となる。日本やオーストラリア国内の強固な物流網をはじめ、50カ国以上1200拠点のグローバルネットワークを保有し、分析専門チームによるコンサルティング力、効率化やコストダウンへ向けたソリューションのノウハウに定評がある。

スタート・パシフィック



海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。



日系不動産仲介企業のリーディングカンパニー

スタートは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオールド・トランスにごさいます。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております!

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。

もちろん、個人の住宅もサポート

ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国時の日本でのお住まい探しもご相談下さい。

●ロサンゼルス店:

TEL (310)782-7877
 1219 El Prado Ave., Torrance, CA 90501
 info@startsla.com
 www.starts.co.jp/la

●ニューヨーク店:

TEL(212)599-7697
 www.startsnewyork.com

●サンJose店:

TEL(408)380-2499
 www.starts.co.jp/sanjose

●スタートコーポレーション株式会社:

TEL (03)6202-0111(代表)
 〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10
 スターツ八重洲中央ビル
 www.starts.co.jp

●ハワイ店:

TEL(808)947-2280
 www.startshawaii.com

●ダラス店:

TEL(646)708-6194
 www.kaigai.starts.co.jp/dallas

各分会からのお知らせ

ダウントウン地域部会

終点はハリウッドサイン 恒例のゴミ拾いハイキング

文：幹事一同

6月2日、恒例のゴミ拾いハイキングをグリフィスパークからハリウッドサインへ至るトレッキングコースで行いました。2012年以来、17回目の開催となるこの企画ですが、今回も38名の方にご参加いただき、全行程約6マイルのトレイルをマジックハンド片手に歩いてまいりました。

当日、日差しはないもののなかなか蒸し暑い中、冬場の雨のせいで例年になく伸びた草木をかき分けつつ、全員無事歩きました。ハリウッドサインまでは徒歩でしか行くことができませんが、有名な場所であることからゴミは多く、行き交うハイカーから「ありがとう」の声を頂きつつ、今回もかなりの量のゴミを回収してまいりました。

ダウントウン地域部会では、今期もあと2回のゴミ拾いハイキングを計画しております。この企画が会員の皆さんに山に親しんで頂く機会となれば幸いです。ぜひご参加ください。



ハリウッドサインまで到着して記念撮影!

あさひ学園便り

4月よりあさひ学園に赴任 よろしくお祈りします

文：あさひ学園教諭・赤城敬二さん

みなさん、はじめまして。この度、あさひ学園に赴任することになりました赤城敬二と申します。出身は大阪です。この3月までは大阪府守口市の中学校に勤務していました。中学3年生の担任として、社会科の教諭として、そしてバスケットボール部の顧問として元気な生徒たちと共に日々学び合い、汗をかいて過ごしてきました。

さて、4月からの赴任地がロサンゼルスと決まり、私なりにあさひ学園について調べてみたところ、全米でも有数の大規模校であり伝統のある学校だということ、そして、意欲的に学ぶ子どもたちとそれを支える保護者の皆さま、教職員の方々の熱心な姿があることがわかりました。このような学校で共に学び合えることに大きな使命感と喜びを感じています。自分自身がこれまで培った経験が、少しでもあさひ学園に通う子どもたちのためになるよう、全力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお祈り致します。



トレッキングコースはゴミを拾い、楽しみながら歩いていきます。



赤城敬二さん。

7/8月のJBAイベントカレンダー



7/16 (火)

大リーグ・エンゼルス観戦

オレンジカウンティ地域部会

7/20 (土)

**第26回JBA Foundation
チャリティーゴルフトーナメント**

教育文化部会

7/25 (木)

第220回ビジネスセミナー

企画マーケティング部会

8/10 (土)

トランスBreweryめぐり2

サウスベイ地域部会

8/17 (土)

ヤクルト工場見学会

企画マーケティング部会

8/18 (日)

二世ウィーククロージング・盆踊り

ダウントウン地域部会

8/24 (土)

アニマルケアボランティア

オレンジカウンティ地域部会

8/31 (土)

カタリナ島ツアー

サウスベイ地域部会

※各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご覧ください。

新入会員

SENKO (U.S.A.) Inc.

821 E. 230th St., Carson, CA 90745

☎ 562-456-6112

Taiko Enterprises Corp.

1467 W. 178th St., Gardena, CA 90248

☎ 310-715-1888

NIPPON STEEL TRADING AMERICAS, Inc.

3100 Bristol St., Suite 525, Costa Mesa, CA 92626

☎ 714-367-3900

Diamond Realty Management America Inc.

515 S. Flower St., Suite 4860, Los Angeles, CA 90071

☎ 213-346-2114

「パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム」は
米国駐在員の皆さまのニーズにお応えします。

- ・渡米前に日本から米国の口座を開設し生活費を送金しておきたい
- ・米国赴任中も銀行口座について日本語でやりとりしたい
- ・米国到着後、すぐにカードで現金を引き出したい
- ・日本帰国後も米国の口座を利用し、日本から口座を解約したい

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669**

(フリーダイヤル・日本時間にも対応)までお問い合わせください。



A member of MUFG, a global financial group